

輝け！シン尾花沢中

第190号

令和8年

2月24日

けだかく晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海も

SNS上での暴力行為動画の投稿と拡散防止

児童生徒間の暴力行為等の動画が、SNS上に投稿・拡散された複数の事案が報道されています。このことを受け、文部科学省から全国の学校あてに、小中高校生に対して伝えてほしいという依頼がありました。

尾花沢中では、18日（水）に生徒指導部長の見玉拓也教諭が次のような内容について全校生に伝えたところです。



学校の廊下で、倒れている男の子に対して、身体、頭をボコボコに蹴っている動画を見ました。頭を守っているにも関わらず、お構いなしで蹴られ続けています。蹴られているのも、蹴っているのも、聞こえてくる撮影者の笑い声も、中学生でした。もし、こんなことが自分の娘や息子の周りで起きることを想像したら、恐ろしくなりました。その後も、暴力動画の投稿が何件か続いてニュースになりました。

心配なことが3つ思い当たりました。

①『尾花沢中でも同じようなことが起きていないか』

みなさんの周りで、暴力行為やその他のいじめが、見過ごされていませんか？ 友達や家族、学校の先生に、相談したくてもできていない現状はありませんか？ 教えてください。

②『SNS上での投稿の理由』

あの動画をSNS上に投稿したのか？ただのふざけで撮影し、投稿したでは、済まされないレベルです。犯罪行為なので、警察と連携し、厳正な指導がなされたそうです。ケンカ自慢の若者が、1分間だけケンカをする戦い『ブレイキングダウンごっこ』が今流行っており、それを真似したものを撮影し、投稿してしまい、仲間内で盛り上がっている中学生もいるようです。いじめられている被害者が、撮影してもらったものを投稿している可能性も考えられます。「助けてくれ」というヘルプサインだったのかもしれませんが。

③『SNS上に投稿すること、拡散することの危険性』

自分の名前を明かさなくていいSNS上では、投稿・拡散がエスカレートしがちです。誰かから送られてきた画像や動画を、別の人に拡散することは、新たな人権侵害になり、自分が加害者になります。個人情報も、『デジタルタトゥー』として、半永久的に残ります。自分の恥ずかしい画像や動画が、検索すると出てくるようなことがあったら、どうでしょうか？ 就職先や、結婚相手にも調べられます。自分が、次の人に送ったらどうなるかを十分に考えて、送らなければならないのです。

他人の心の痛みのわかる、真心ある尾中生になりましょう。

尾中生は、真剣に話を聞いていました。①のようなことがないシン尾花沢中を、尾中生、先生方、保護者の皆様、地域の方々に創り上げていきましょう。 【文責：校長 工藤雅史】